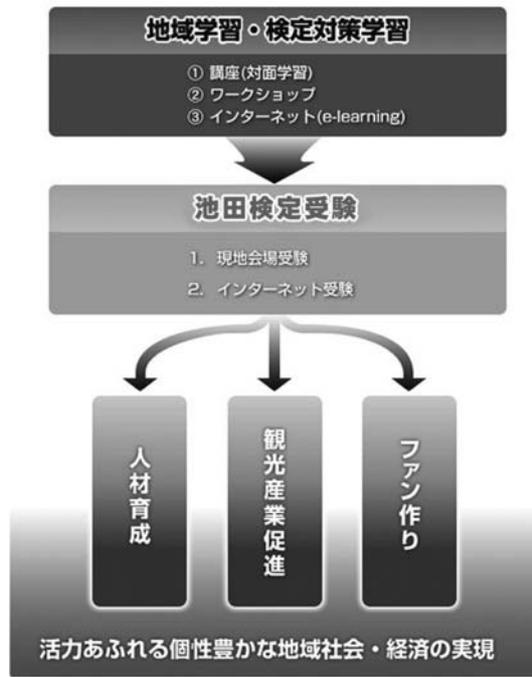


# 郷土愛の実現に向けて

「くだれでも楽しく  
生涯学習できるツール」



教育的側面、観光PR的側面、人事的側面などから池田町独自の「池田検定」を作成して郷土愛の醸成に繋げてはどうか。

町長

郷土愛の醸成に向けて、商工会や観光協会とも連携して検討していきたい。

人事採用面ではグループ討

道の駅（情報スペース）の完成までに進めてほしい。

町長

クイズ形式などと抱き合わせてやっていきたい。

# 情報公開について

## 説明責任貫徹の大前提は、情報公開！

りたい。

自治基本条例の制定は、いつ頃の予定か。

町長

今年度中にある程度の目途をつけたい。

タイムリーかつ低コストの情報提供手段として、教育委員会以外でもメールマガジンを活用できないか。

町長

i ネットメールを312名に活用していただいている。NPOや学生とも協力して研究していく段階です。



リニューアルされたホームページを活用して更なる情報公開が期待される。

# 住民参加について

## 利便性の提供が鍵！

専門委員会や諮問機関は、いつも同じような方々のようだ。委員の選考方法の見直しは。公募では社会的階層に偏りが出るので、名古屋市のような無作為抽出は検討できないか。

町長

公募は、町づくりワークショップで行っている。名古屋市の方式ともバランスを取りながら、委員の偏らないように慎重に公募を進めたい。

団体活動助成の方向性は。

町長

新たな団体や新規事業に対して今年も助成をして、さらにNPO法人の育成を続けたい。